

ひろしま自然保育 2018 活動報告書

森のようちえん まめとっこ

1 ようちえん【そらまめ】の活動

天候や季節に関わらず森で存分に遊び、その主体的な遊びを通して子どもも大人も育つ共同保育型*のようちえんです。2018 年度も自由遊びを中心に、野外料理・にじみ絵・季節行事・畑仕事などに取り組みました！（* 保育スタッフ・園児の保護者がともに運営・保育を行う形態）

【こんな場所で遊びます】

まめとっこの子どもたちの遊び&育ちのフィールドは、主に安佐南区山本・祇園・大塚、西区三滝エリア。広島市内中心部から車で30分程度でアクセスできる場所に、さまざまな表情の森が広がっています。長く歩く・ひとところにとどまって遊ぶ。のぼる・くだる・はしる・ぶらさがる・すべる・ゆれる・とびおる。ほる・ぬれる・よごれる。保育当番のスタッフ・お母さんたちに見守られる安心感のもと、友達と遊び、自分のからだやこころとたくさん対話をして、さまざまな感覚や感情、自然・友達・自分とのつきあい方をそれぞれのペースで知っていきます。失敗も不便も不快な感覚も、育ちのもとです。



【いきものと出逢う】

春夏秋冬、晴れの日・雨の日。一年を通して森に出かけるまめとっこでは、今年度も生き物との出逢いがあちこちに。親しみを感じる生き物もいれば、ちょっとこわく感じる生き物も。かわいいあまり触りすぎて、生き物を殺してしまうこともありました。私たちのいのちがたくさんの生き物の存在と隣り合わせであり、支えられていること、いのちの大切さ。大きくなったとき、こんなことが、机上の知識ではなくて感情や感覚とともに当たり前のこととして理解できて、自分と周りの人や生き物のいのちを大切にする人に育ってくれるはずです。



【野外料理】

月に2回ほど野外料理をしました。野菜、米、味噌をそれぞれ持参。自分で持ってきた野菜を包丁で切り、米をといで水加減し、拾い集めた枯葉や枯れ枝にマッチで火をうつしてごはんを炊き、味噌汁をつくります。季節に合わせて、お雑煮やひなまつりのちらし寿司などもつくりました。包丁は、刃が切れにくく加工されたものは不要な力を入れるためかえって危険。まめとっこではあえて切れ味のいい「台所育児」の子ども包丁を使っています。最初の頃は危なっかしい手つきだった年少さんや、マッチを擦るのがこわかった子、お米のとぎ方や水加減が分からなかった子も、年上の子や仲間から教えてもらってやり方を覚えました。



【ふゆいちごの城を見つけた！】

12月のある日、ふゆいちごの城を発見！普段はゆっくりペースの子も目を輝かせてずんずんと分け入り、夢中で摘みました。それでもまだまだふゆいちごはなっています。子どもたちと相談し、翌週ふゆいちごジャムをつくりました。みんなでおいしく食べるために、つぶさないように協力してたくさん集めて洗って煮詰めたら、おいしいジャムのできあがり！



【セイタカアワダチソウで草木染め／年中進級手仕事・年長卒園制作】

セイタカアワダチソウを摘んで布地を染めました。年中はお弁当包み・年長は小学校で使う手提げになります。年長の手提げは、子どもたちが針と糸を使って脇を手縫いしました。



【年長登山&ナイフで鉛筆削り】

今年の年長も、卒園に向けて3回登山に挑戦しました。ようちえんの3年間遊んできた山の山頂を目指します。2回目と3回目の登山では、山頂で、卒園記念品のナイフを使って鉛筆削りにも挑戦しました。いよいよ幼児期の総仕上げ。新しい環境に歩み出す彼らにとって、年長登山は一山登るごとに成長の実感と自信、仲間を思う気持ちがふくらんで、大切な一日になるようです。



【こんなこともしました】

スタッフとともにお母さんも保育・運営に携わる共同保育のまめとっこでは、お父さんの存在もとても大きなもの。お父さん当番日も年に2回実施しました。「参観」ではなく、保育当番としての参加。当番後の振り返りもしてもらいました。我が子だけでなく一緒に遊ぶ子どもたちの姿を見守ることで、我が子の成長を感じるとともに、「みんなの子どもたちが育つ場を自分たちも一緒につくっている」という感触を得てもらえたようです。

また、7月の西日本豪雨では私たちが活動しているフィールドの一つで小規模な土石流が発生、管理者のおじちゃんたち（ほとんどの方が70代）とともにスタッフ・園児の父母も復旧作業をさせていただきました。大切につくりあげてきた施設が壊されたにもかかわらず、すぐに新しい復興の青写真を描いて連日汗をかき、見事に復興を遂げる姿に、「自然の力はすごい、でも人間の力はもっとすごい」とただただ感銘を受けた私たちでした。後日、フィールドの安全確認が済み子どもたちと再びこのフィールドを訪れた際には、おじちゃんがきれいになった現地で写真を見せながら子どもたちに災害と復興について話してくださいました。子どもたちの心の中にも、自然災害のこわさと人間の力の素晴らしさが届いたと思います。



2 研修

- ①母とスタッフがつくる保育・運営勉強会
- ②救急講習（年3回）
- ③森のようちえん全国交流フォーラム in とっとり
- ④県主催安全管理研修・懇談会
- ⑤森のようちえん団体安全認証取得にかかる安全講習会 などを開催・参加しました。